

# 2021年度「子ども第三の居場所」実施・募集要項の概要

## 子ども第三の居場所とは

子どもたちの困難は家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそも困難が家庭や学校に起因する場合も少なくありません。  
 「子ども第三の居場所」は、子どもたちが孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む場です。

## 実施内容

子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育みます。



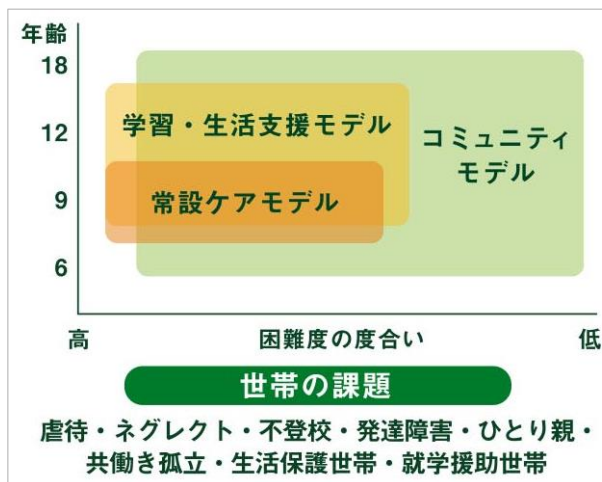
## 募集対象等

- 対象となる団体
  - ①海洋センター所在自治体で2019年度海洋センター評価がA以上の自治体  
 ※すでに「子ども第三の居場所」設置自治体も対象
  - ②上記①以外の自治体(市区町村)
- 対象となる事業
  - ①「子ども第三の居場所」開設事業  
 施設の新築、改築、増築および施設に設置する家電・什器等の設置など
  - ②「子ども第三の居場所」運営事業  
 居場所の運営
- 対象となる事業期間  
 2021年4月1日～2022年3月31日  
 ※最長3年間の運営助成を行い、4年目以降は自治体による継続運営
- 募集する居場所数  
 30カ所程度
- 申請期間(設置意思確認書提出期間)  
 原則、2021年2月22日(月)～2021年4月30日(金)  
 ※3月31日までとしていましたが、延長しました。



## 支援・助成内容

展開モデル	常設ケアモデル	学習・生活支援モデル
実施内容	週5日以上開所し、課題を抱える小学生一人ひとりに、手厚いスタッフ体制のもとで、学習支援や基本的な生活習慣を身につけるための生活支援、豊かな体験機会の提供等を行う	既存の学習支援事業において、課題を抱える小学生を中心とする子どもを対象に、週3日以上開所し、学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援などを行う
実施頻度	週5日以上(週25時間以上)	週3～4日(週9時間以上)
対象	経済状況や家庭環境に課題を抱えた小学生	経済状況や家庭環境に課題を抱えた小学生(中高生可)
人数	1日定員20名以上	1日定員7名以上
スタッフ	マネージャー(フルタイム)1名以上ほか計4名以上	マネージャー(フルタイム)1名以上ほか計3名以上
運営費助成	月額80万円～120万円	月額60万円～80万円
開設費助成	3,000万円～5,000万円程度	3,000万円～5,000万円程度



※B&G財団では「コミュニティモデル」の募集は行いません。